

子どもを変えようとするよりも 自分が変わろうとする先生方に学んで



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
総括研究員 久保山 茂 樹

現在、どの幼稚園にも特別な支援が必要な子どもが在籍していることと思います。特別な支援が必要な子どもを含め、多様な子どもたちを受け入れて保育されている先生方に、心より敬意を表したいと思います。また、幼児教育の初心者である私に、学びの機会をいただいている幼稚園のみなさまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

ある幼稚園でうかがった話です。園全体で実施する誕生会の時、子どもたちが騒がしく、落ち着きのない状態が続きました。その様子が気になった先生方は、子どもたちの降園後、「現場検証」をしたというのです。子どもがいないホールに誕生会と同じように全員分のイスを並べて、順番に座ってみました。すると、「ここからはステージがよく見えない」「窓が開いていると車の音が気になる」「カーテンがないとまぶしかったと思う」など、子どもが困ってしまい、参加しにくい環境があったことに気がつきました。次の誕生会ではこの「現場検証」を踏まえて改善し、どの子も過ごしやすい工夫をしたとのことでした。保育をよりよいものにするために「ここまでするのか」と頭が下がる思いでした。

このように、幼稚園の先生方は、保育がうまくいかなかった時、その理由を子どもに求めるのではなく、保育者による環境設定やかかわりの中に見つける努力をなさっています。それは、言い換えれば、子どもが困っているかもしれないと考え、子どもから学ぶことを大切にする姿です。さらに言えば、子どもを変えようとするのではなく、先生方が変わろうとする姿です。私は、幼稚園にお邪魔するたび、先生方の謙虚で、柔軟で、かつ前向きな姿に、いつも学ばせていただいています。

先生方のこうした姿は、特別な支援が必要な子ど

もたちにとって、とても安心なことです。

障害には、早く気づき、早く個別的な対応していくことが大切だと言われています。客観的なアセスメントを行い、個別の指導計画を立案して個別的な支援を実施することは重要です。しかし、こうしたことが強調される中で、子どもに対して「あの子には〇〇障害の特性があるから、〇〇する」という判断やかかわりをするが増えているように思います。また、その子の気になる行動を変えることにのみ力を注いでいる先生に出会うこともあります。

先生方のこのような姿は、子どもにしてみれば、自分を否定されているように感じることでしょう。

子どもは、「いま ここ」を懸命に生きています。「いま ここ」で自分が夢中になり、没頭していることを、先生に見てほしいと願っています。子どもは、先生のまなざしにデリケートに反応します。自分の「いま ここ」の姿を受け入れ、認めようとするまなざしなのか、それとも、障害の特性にあてはめたり、行動を変えようとしたりするまなざしなのか、きっと、見分けていることでしょう。

このため、先生の子どもを変えようとする思いが強ければ強いほど、「いま ここ」を懸命に生きる子どもとの関係が苦しくなってしまいます。

子どもとの関係が苦しいと感じた時こそ、子どもへのまなざしを変えてみたいと思います。気になる行動に隠れている、その子の良さ、得意に目を向けてみたいと思います。子どもとともに楽しめることを探したいと思います。子どもを変えようとするよりも自分が変わろうとすることで、子どもとの関係は、柔らかくあたたかいものになります。

そんな先生と子どもとの関係をこれからも幼稚園で拝見し、学びたいと思います。

第9回都道府県政策担当者会議が開催される

10月7日、東京・私学会館にて全日私幼連の第9回都道府県政策担当者会議が開催され、全国から120名の先生方が参加されました。主な内容は次の通りです。

■講演①「地方財政の諸課題について」

講師：君塚明宏・総務省自治財政局調整課理事官

国家財政と地方財政のしくみについて、教育・社会保障・インフラ整備などの概要に加え、その詳細な説明がありました。

幼児教育の無償化については、6月に、財源を確保しながら段階的に進めていくという閣議決定があったと説明がありました。また今後、少子高齢化・都会への人口の集中等により、施設の集約化・複合化・施設の転用等が検討されているなど、地方財政の方向性についての説明がありました。

■講演②「平成29年度概算要求について」

講師：淵上孝・文部科学省高等教育局私学部私学助成課長

平成29年度私学助成関係予算要求の概要について説明があり、一般補助の園児一人当たりの単価や、特別補助の支援教育・預かり保育の推進等について説明がありました。

■講演③「すべての子どもに質の高い幼児教育を」

講師：伊藤学司・文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

幼児教育の無償化は「財源確保」とともに、幼児教育の「質の向上」（幼児教育は効果があるということを社会に広める）が必要である点、また、幼稚園教育要領の見直し、幼児教育推進体制の構築、幼児教育研究センターの設置などについて説明がありました。幼稚園教育要領については、資質・能力の三つの柱として、「知識・技能」の習得・「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力、人



間性等」などの内容について説明されました。また、環境整備の充実として、人材確保のための取組の推進の内容について説明されました。

■政策委員会報告

1. 坪井久也・全日私幼連政策委員会委員長より、幼児教育振興法の成立に向けての取組および処遇改善その他の取組について報告されました。
2. 北川定行・全日私幼連政策委員会副委員長より、私立幼稚園の退職金と社会福祉法人が運営する保育所等の退職金との制度の違い、公定価格の地域区分の矛盾等について大阪府における実態が報告されました。
3. 石井和則・全日私幼連政策委員会委員より、神奈川県私立幼稚園連合会の現状と取組および横浜市私立幼稚園等預かり保育事業等について報告されました。
4. 大矢野隆嗣・全日私幼連政策委員会委員より、まず、熊本地震についての義捐金等の感謝と現状について報告があり、熊本市への陳情等の活動内容について報告されました。

（調査広報委員・樫村文夫）

●第32回 設置者・園長全国研修大会開催される

福島武山氏、四代 徳田八十吉氏が記念講演

10月17日・18日 石川県・金沢市

10月17日・18日、石川県金沢市・ANAクラウンプラザホテル金沢において全日私幼連の第32回設置者・園長全国研修大会が（一社）石川県私立幼稚園協会（田中辰実理事長）の協力を得て開催され、全国から約500人の先生方が参加しました。

今年度の大会テーマ「明日にむけて幼児教育の振興を考える」のもと、開会式に続き、福島武山氏（久谷赤絵作家）、四代 徳田八十吉氏（九谷焼作家）による記念講演「不易流行 つなぐこと、変わること」が行われました。その後、伊藤学司氏（文部科学省初等中等教育局幼児教育課長）より行政報告が行われました。

大会2日目は研究講座が行われました。研究講座の概要は次のとおりです。

【教育】 幼児教育の質の向上をめざして～幼稚園・こども園の砂場から幼児の育ちを捉える～【振興】 これからの幼児教育の振興を考える【経営】 園運営にかかる危機管理について【認定こども園】 認定こ



ども園制度の充実に向けて

2日間の研修大会の日程を無事に終えて閉会となりました。

なお、来年度は、大分県での開催を予定しています。

地域で生き残る園になるためのサポートブック



ISBN978-4-577-81399-7

772

園のリーダーのために 保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価：本体価格926円＋税

B5判 72ページ

2016年度 12月号の主な内容

- 保育ナビスペシャル対談** 今回は、昨今のお金の価値に関する二項対立的な風潮に疑問を投げかけるエコノミストの篠谷浩介さんをゲストに「里山資本主義」の考え方を含め、お話をうかがいました。
- 特集 保育者が育つ、育ち合う職場づくり** ～職員のメンタルヘルスのために～
保育者という職務の性質上、日々変化する仕事内容へのプレッシャーや、人間関係のストレスやトラブルは避けられないもの。それらを上手に乗り越えていくための考え方や具体的な方法、組織としてのあり方を考えます。
- Learnig Story + Teaching Story** 育ちを支え、保育の質を高める保育記録
今月のテーマは「記録を媒介とした対話で保育者が育つ」。記録を「読む立場」から考えます。

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育営業部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

平成28年度 地区教研大会概要

東北地区 教員研修大会

福島県・福島市、伊達市／8月19日・20日

大会テーマ 「人生のスタートにこそ良質な教育を」

～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～

今年度の教研大会は、8月19日(金)20日(土)の両日、福島県県北方部で開催されました。夏休み期間中は、各園の先生方も参加しやすいであろうと、福島県県北方部ではこの時期に開催しておりますが、当初1,200名程度の参加を予定しておりましたところ、暑い季節とお盆過ぎの2学期直前の時期にもかかわらず、1,400名を超える参加を頂きました。

各分科会の収容定員いっぱいまで受け入れましたが、参加者の方々にはご不便をおかけした事が多々有り、さらに追加申し込みを頂きながら、お受けできなかった方々がありました事を申し訳なく思っています。

このような状況の下、準備した会場で多くの参加者のご協力を得て、充実した研修大会となりました事に感謝申し上げます。

19日は9分科会が設定され、午前中には6園の公開保育を実施しました。公開保育園は3園の幼稚園と3園の幼保連携型認定こども園となり、それぞれ多くの先生方に参加して頂きました。幼稚園としての私学の独自性を高めている各幼稚園の見学は、各園での取り組みの参考となった事と思います。また、幼保連携型認定こども園は、新しい幼児の教育・保育施設として徐々に定着してきているところですが、様々な取り組みを実際に見学することにより、自園の教育・保育の参考になった事と思います。分科会においては、それぞれのテーマに沿って、講師・助言者の先生方の指導により充実した内容の研修を行うことができました。分科会の中で、第8分科会は、公開保育コーディネーター養成講座として実施しました。第9分科会は園長設置者研修会として、子ども・子育て支援新制度の現状と課題について研

修し議論することができました。他の分科会においても、現在のそれぞれの園での取り組みをふまえて、現場の先生方の保育に生かせる多くの学びを得ることができました。

20日は全体会となり、福島県知事様をはじめとして多くのご来賓の方々のご臨席を頂き盛大に開催いたしました。その中で、永年勤続者表彰、教育研究奨励賞の表彰がなされ、先生方の努力をたたえることができました。

全体会に続く記念講演では、東京大学大学院教授の秋田喜代美先生によって「今後の幼児教育・保育の方向性と園のリーダーシップ」と題してご講演を頂き、感銘深く拝聴することができました。新制度の施行によって変化する各園の現場の先生方の新しい取り組みに多くの示唆を得ることができました。

19日に行われた懇親会では、福島県に来県された東北各県の先生方と楽しい交流の場を持つことが出来ました。福島県の味を楽しんで頂き、温泉地飯坂の太鼓、福島市のキャラクター「ももりん」も登場して、会場を盛り上げました。

今回の大会が、盛会のうちに無事終了することができたのは、お忙しい中ご協力を頂いた講師・助言者の先生方、東北地区の役員の方々、各県の教研委員の皆様方、福島県の役員と先生方のおかげと深く感謝申し上げます。また、福島の地に足を運んで下さいました東北各県の先生方、そして、研修会のために支えてくださった県北方部の各園の先生方に感謝申し上げます。

((公社)福島県私立幼稚園・認定こども園連合会理事、伊達市・保原教会幼稚園／海老原三博)

大会テーマ 「人生のスタートにこそ良質な教育を」

～子どもたちの幸せを願って、今～

8月23日・24日、埼玉県さいたま市にて、第31回関東地区・神奈川地区教員研修埼玉大会が開催されました。新潟・千葉・山梨・神奈川・群馬・栃木・茨城、また地区以外の長野・山形・そして開催県の埼玉と、2,358名の参加者が会場の大宮ソニックシティ大ホールを埋め尽くし、盛大に開催することができました。大会運営にはたくさんの方々の力が集結し、参加者と一緒に充実した2日間をつくることができました。この場をかり、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

大会1日目、ウエルカム・ミニコンサートを皮切りに、山口泰明衆議院議員をはじめとする多くのご来賓の方々のご臨席のもと、上田清司知事からは励ましのメッセージもいただき、滞りなく開会式を行うことができました。続く記念講演では、埼玉に所縁のある順天堂大学医学部附属順天堂医院院長天野篤先生から、「負けず嫌いの小節介から心臓外科医へ」というテーマで、普段聴くことができない貴重なお話を聴くことができました。その後に行われたオペラ「泣いた赤鬼」では、オペラの持つ魅力と素晴らしい歌声を味わうことができました。会場では、物語の中で感情移入をし、涙を流す参加者の姿も見られました。

大会2日目、(公社)全日私幼幼児教育研究機構の研究テーマに基づいた各県担当8つの一般フォーラムと埼玉独自の12の特別フォーラムという構成で行いました。問題提起をもとにした活発な意見交換があったフォーラム、体を動かしたり実験を行ったりと体験を主としたフォーラム、また教員免許状更新講習や公開保育コーディネーター養成講座など、昨年度の大会でも取り上げたフォーラムを継続して行いました。

ここ数年はコンパクトにとの方針で進んでおりま

したが、「県の規模にあった大会を」ということで、埼玉では前回大会と同じくらいの規模で行うことを目標に、約1年半、準備を進めて参りました。その中であって前回大会との大きな違いは、「会場を駅から近くすること」、「本部設営、人員配置、用品の用意、弁当の移動などを考慮し、フォーラムによる会場の分散をしないこと」でした。その結果として、アクセス面では大変良い評価をいただきましたが、会場によっては定員ギリギリで狭さを感じさせてしまったり、放送機器に限りがあったため、不便を感じさせてしまったこともありました。いただいた貴重なご意見を、今後に生かしていきたいと思えます。

「困難に対しても顔を背けず、握手する姿勢で向かうこと」、「自分の行動で周囲を勇気付けようと思うこと」、「具体的な目標を設定すること」、「周囲が応援してあげたいと思うような工夫、アイデア、ビジョンを持つこと」、「チームの中で親しみが持てるような雰囲気づくりをすること」、「世代の違う人たちの考え、行動に共鳴する余裕を持つということ」、「難易度の高い医療行為では、チームにも感動を与えられるように心掛けるとのこと」、これら記念講演の中で天野先生からいただいた言葉は、職種は違いますが、全て私たちにも当てはまると思います。

これからの時代、様々な困難が待ち受けているかもしれませんが、参加者全員、「明日からの保育、子どもたちのために頑張ろう」と再確認できる2日間だったと思います。

((公社)全埼玉私立幼稚園連合会、関東地区大会委員長、白岡市・杉の子幼稚園／関山典央)

大会テーマ 「人としての学びにつながる良質な教育を」

～感動維新 山口から～

8月22日～23日、長門市・萩市を拠点として、中国地区私立幼稚園教育研修会山口大会を開催しました。研修会の在り方については、これまで、中国地区私立幼稚園協議会教育研修委員会で議論され、研究発表中心の研修会と地域資源を活用した研修会とを交互に開催することとなっており、10年目を迎える本研修会がローテーションの最終年度として位置付けられていました。そこで、大会テーマとして『人としての学びにつながる良質な教育を～感動維新 山口から～』を掲げ、記念講演・基調講演はもとより、分科会の充実を図ることにしました。

記念講演は安孫子薫様を講師にお迎えし、東京ディズニーリゾートとキッザニア東京で運営部門トップとして仕事をされたご経験を基に、顧客となる“こども”教育の考え方及び“従業員”教育について経験談を交えながらのお話を拝聴しました。

基調講演は、東京学芸大学教授岩立京子先生をお迎えし、幼児期教育が、その後の子どもの発達や学びに大きな影響を及ぼすことについてご講演いただきました。保育の専門職である私たち保育者は常に保育を振り返り、実践の質の向上に向けて、努力しなければならないとのご教示を基に今後尚一層研修に励む志を、参加された603名の先生方誰もが強く持たれたと確信しています。

なお、おもてなしの時間の中で、4園による幼稚園紹介ポスターセッションでは、建学の精神に基づき、創意工夫を凝らした園の取組みについての発表があり、初めての試みでしたが、ポスターセッションを通して参加者それぞれの園の取組みについての振り返りの場となり、好評を得ることができました。

研修会2日目は、地域資源を活用した研修として、2つの分科会を設けました。

第1分科会「吉田松陰に学ぶ」は、松下村塾の中

で、松陰先生が大切にしていた『人としてどう生きるべきか』等について松陰神社の上田俊成宮司様からご講話を拝聴しました。

第2分科会「金子みすゞの世界に触れる」は、矢崎節夫館長ご自身から、金子みすゞの世界観についてご講話を拝聴することができました。

また、平素の教育・保育の充実に向け、6つの分科会を設けました。

第3分科会及び第4分科会の「公開保育」では真珠幼稚園と認定こども園深川幼稚園とで公開保育が行われ、公開保育コーディネーターを中心に、グループ協議を実施しました。

第5分科会「乳幼児保育を学ぶ」では、認定こども園萩幼稚園視察を通して東京学芸大学教授岩立京子先生より、今後の乳幼児教育の在り方について研修を深めました。

第6分科会「共に育つ保育者」では、元茨木市立幼稚園長米谷美和子先生から、保育者としての心構えや研修の意義・自己研鑽の在り方等のご講話・質疑応答を通して学び合いました。

第7分科会「子どもの姿から、保育を総合的に考える」では、グループワークを通して研修を深め合い、山口大学教育学部准教授川崎徳子先生のご指導を受けました。

第8分科会「設置者・園長・ネクストリーダー部会」では、宇部フロンティア大学教授高田晃先生から、保育者の心の健康の保持増進のための職場環境についてご指導を受けました。

中国5県の先生方が、明日の幼稚園づくり、次代を担う子どもたちの育成に向け、志を新たにした研修会になったと思います。

((公財)山口県私立幼稚園協会副理事長、岩国市・認定こども園岩国中央幼稚園／中邑隆哉)



受配者指定寄付金制度を利用して、学校法人立の私立幼稚園へ寄付を行うと、寄付者（企業・法人）は法人税法上の優遇措置として**全額損金算入**することができます。

ご利用には一定の要件があります
まずは、下記までお気軽にご相談ください

日本私立学校振興・共済事業団
助成部 寄付金課
〒102-8145
東京都千代田区富士見 1-10-12
TEL 03-3230-7317・7318
e:mail kifukin@shigaku.go.jp
HP-URL <http://www.shigaku.go.jp/>

受配者指定寄付金制度

をご活用ください

寄付金募集の際には日本私立学校振興・共済事業団の

はじめてみませんか 寄付金募集

寄付金は私立学校の
重要な収入源です！

※平成27年4月より、子ども子育て支援施設（学校法人が設置する幼保連携型認定こども園）支援のための寄付金もこちらの制度の対象となりました！

スクールバスの運転手に対する点呼記録簿 ならびに運転日報の重要性と必要性の再確認を

観光バス等による事故が発生するなど、痛ましい事故が相次いで発生しています。この度、経営研究委員会（尾上正史委員長／福岡・紅葉幼稚園）では、日頃よりスクールバスを運行されている加盟園の皆さまに対し、再度、安全運転ならびに安全対策の徹底をお願いさせていただきたいと存じます。

つきましては、未然に事故を防ぐ手段として「点呼記録簿」ならびに「運転日報」を作成しておりますのでご活用くださいますと幸いです。子どもたちを乗せ、命を守るため日頃より安全運転につとめて下さっている加盟園の皆様へ、より一層のスクールバスの安全運転・安全対策の徹底をお願いいたします。

【点呼】の実施について

①園・担当者は、運転手が乗務前の車両を点検後、出発前に対面により運転手からの日常点検の報告、本人の健康状態や酒気帯びの有無についての報告を受けるとともに確認を行う。

②園・担当者は、乗務を終了した時も同様に、対面により乗務後点呼を実施し、乗務した自動車道路・運行の状況の報告を受けるとともに、酒気帯びの有無についての確認を行う。

※ 点呼の実施により、運転手の意識を高め、より安全運転につとめるよう促すことにより、未然の事故を防ぐ一助となる。

【運転日報】の実施について

①車両は毎日の点検が重要であり、走行中に普段と違う臭いや音、振動などを感じたことを報告する。

②乗車するたびに日報を記録することで、車両状況・運転状況が分かり、未然の故障や事故を防げる。

※ 運転日報の実施も、点呼同様、運転手の安全意識の向上はもとより、毎日の車両状況等を確認することにより、未然の故障や事故を防ぐ一助になる。

詳しくは、全日本私立幼稚園連合会ホームページ（<https://youchien.com/>）をご参照ください。



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



ジャクエツ

免許状更新講習を受講・修了された皆様へ

更新講習を受講し終えた後、期限までに免許管理者（都道府県教育委員会）に対する申請が必要です。期限までに必要な申請をしなかった場合、更新講習を受講し終えていたとしても、有する免許状が失効してしまいます。

「更新講習修了確認」に係る申請方法や提出書類は各免許管理者が定めております。各免許管理者が定める申請方法等を確認の上、必ず期限までに申請を行うよう、ご注意ください。

※ 申請期限

- ・修了確認期限が平成 29 年 3 月 31 日
（第 7 グループの方）→平成 29 年 1 月 31 日
- ・修了確認期限が平成 30 年 3 月 31 日
（第 8 グループの方）→平成 30 年 1 月 31 日

申請先一覧（文部科学省 HP）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/002/1314000.htm

11 月は、児童虐待防止推進月間です。

厚生労働省では毎年 11 月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施しています。

平成 28 年度の児童虐待防止推進月間の標語は『さしのべてあなたのその手 いちはやく』です。

期間中は児童虐待防止のための広報・啓発活動、オレンジリボン・キャンペーンの推進、フォーラム等の開催などの取り組みを集中的に実施します。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

私学研修福祉会 海外研修員募集

12月5日締切

一般財団法人私学研修福祉会では、平成 29 年度の海外研修員の募集を行なっています。

●申込資格：私立幼稚園及び認定こども園の専任教員又は職員で、継続して 2 年以上在職の方（原則として 50 歳未満の方で、2 週間以上の期間）●助成対象経費：日本との往復及び外国内での移動にかかる航空賃、船賃の実費及び滞在費●助成金：助成対象経費の 50% 以内（平成 30 年 3 月末の精算）●申込締切：12 月 5 日必着●申込：同財団ホームページで募集要項・申込書などをダウンロードできます。<http://www.skf.or.jp/kensyu/>

選ばれる園になるために
変革のビジョンと実践
22 例

こども園への移行？ 0・1・2 歳児保育を導入？ 保育の質の向上は？

選ばれる園になるために

～変革のビジョンと実践 22 例～

保育施設の未来がこの本に！

保育施設の“機能と質”を考える。
22 園の変革ビジョンとプロセスを一挙公開。

私立幼稚園経営者懇談会・著

248 ページ／税込 4,320 円

世界文化社刊／4061301

株式会社 世界文化社 ワンダー営業本部
TEL：03-3262-5128 FAX:03-3262-6121

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

～研究研修委員会の概要について～

良質な幼児教育を目指して

(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
研究研修委員会委員長 宮下友美恵

■幼児教育の夢をデザインする

研究研修委員会は、幼児期における子どもの豊かな育ちについて研究を深めるとともに、幼児教育にかかわる者を支援し、幼児教育の発展ならびに家庭・地域における教育力の向上に寄与することを目指して、様々な事業に取り組んでいます。現在、研究研修委員会は田中理事長、安家副理事長のもと、研究研修委員、専門委員、協力委員、研修担当の事務局員でチームを組み、その目的達成のため日々活動しています。

香川会長が「研修は私立幼稚園の鑑である」とおっしゃる通り、私立幼稚園が建学の精神を大切にしながら、本当の意味での自立性と自律性を確立し、子どもの豊かな育ちを支えることで、社会に貢献しているという誇りを持ち続けていくためにも、研究研修事業はこれから益々重要になっていくと考えます。幼児教育振興法（仮称）の中でも、幼児教育が

生涯にわたる人格形成の基礎を築くことを促す重要なものであること、そしてすべての幼児教育施設において質の高い幼児教育が行われることの重要性が示されています。そのような中で、研究研修委員会は、幼児教育の夢をデザインしていく委員会でありたいと思っています。子どもたちの幸せのために、幼児教育にかかわる私たちや園が、これからどうすべきかということに、純粋に向き合う委員会でありたいと思っています。

■多岐にわたる事業の展開

現在、研究研修委員会では、幼児教育の質を高めていくために幼児教育にかかわる者の資質向上に関する事業と幼児教育に関する調査及び研究事業を行っています。具体的には、

- ・教育研究課題ならびに研修俯瞰図の周知
- ・幼稚園・認定こども園における学校評価の充実



**バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！**

くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



いつもNAVI

「いつもNAVI」動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。



株式会社 **チャイルド社** インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

に向けた事業の企画、検討

- ・幼児教育実践学会の企画、実施
- ・免許状更新講習等についての企画、検討
- ・全国の研究研修の推進
- ・乳幼児期の子育ち環境のあり方の縦断研究
- ・3歳未満児の発達と保育についての研究及び研修会の企画、実施

他、本委員会が行っている事業は多岐にわたっています。

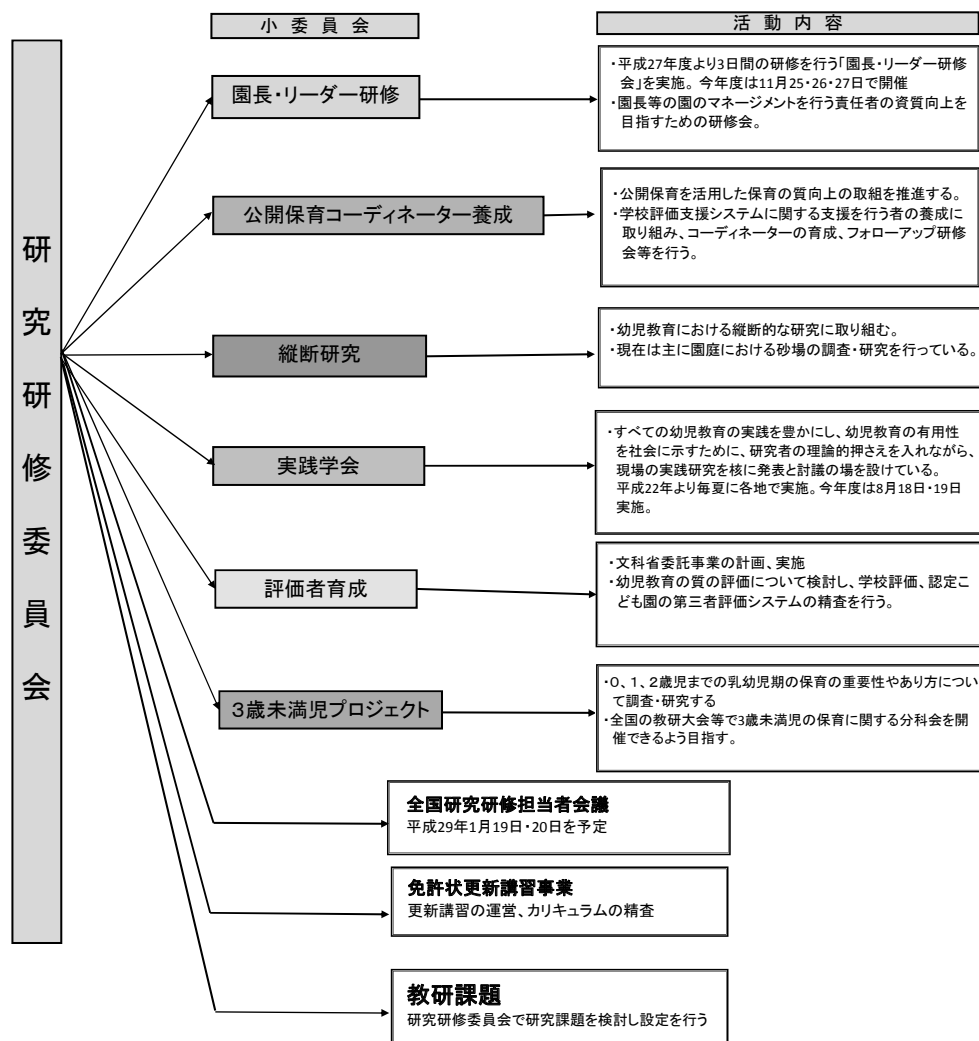
そのため、委員会全体で行う活動に加え、右の図のように課題に特化した小委員会やプロジェクトを組織し、

それらが有機的に関わり合いながら、より成果が上がるよう活動を進めています。

これからの幼児教育は、幼児期において育みたい資質・能力をしっかりと理解し、実際の子どもの姿からそれらを的確に捉え、振り返りをし、教育課程の改善につなげていくことや、各園における評価の質を高めていくこと、さらには、研究者の方々と協力し合いながら教育の質を高めるための研究、研修を進めていくことが益々重要になってくるでしょう。今年度は、委員会の活動を全国の先生方により理解していただけるよう、私幼時報のなかで小委員会やプロジェクトの活動について順次紹介させていただくことにしました。

■学ぶことのすばらしさ

幼児教育の質を高めていくことはとても主体的な



営みです。いくら外部から強い力が加わったとしても、その園の教育に携わる者がそのつもりにならないければ、教育の質を高めていくことはできません。幼児教育にかかわる者が常に自らの問いを持ち続け、その問いに真摯に向き合いながら実践を積み重ね、自らを振り返り、様々なことを学んでいく。その学び合いの過程を研究研修委員会は支えていきたいと思っています。「学ぶことは楽しい」という思いを保育者自身が実感して初めて、子どもたちの学びを保障するための環境を創り出していけるのではないのでしょうか。学ぶことは新しい自分に出会い、自分の世界を広げていくことにつながります。そして、他者との出会いを豊かにし、それらはすべて子どもたちに返っていきます。研究研修委員会は、学ぶことのすばらしさ、楽しさを一人でも多くの方々に伝えるため、様々な事業に全力で取り組んでいきたいと思っています。

Silene Lim シンガポール SIM University 専任講師／講演概要

シンガポールにおける乳幼児期の園のリーダーシップ： 国際的な文献レビューを通じて

今号より、シンガポールの SIM University 専任講師 Silene Lim 氏による「シンガポールにおける乳幼児期の園のリーダーシップ」についての講演内容を掲載します。

【シンガポールにおける幼児教育の現状について】

シンガポールは 2015 年で建国 50 周年を迎えたとても若い国ですが、独立したくなくてしなかったわけではないのです。最初はマレーシアと一緒に英国の植民地になりました。最初に独立したときは、マレーシアと 2 年間一緒に独立しましたが、2 年後はそれぞれの国が各国で独立する形になりました。このことを知っておいて頂くのは、シンガポールという国の国民性を考えていく時に、どのような位置づけでいるかを分かって頂くためにも重要です。どうしたら上手く生き残っていけるかが、常に国家の



▲シンガポール SIM University 専任講師 / Silene Lim 氏

中心としてあるのです。

シンガポールは小さな国であり、大きな経済力も持っておらず、インド、インドネシア、マレーシア、中国といった民族で構成される、多民族国家です。人口は中国系の方が 74% 以上ですが、使われ

新刊 動かして遊ぼう！
**びっくり！おもしろ
しかけ遊び**

ねじれた輪ゴムのしかけや、転がるしかけ、曲がるストローのしかけなど、シンプルなしかけで愉快的な動きを楽しもう！不思議な力と触れ合って遊べます。

立花愛子 佐々木伸 著
定価 2,160円(税込) 26×21cm／80ページ
発行・発売 チャイルド本社

● **※ 好評既刊 ※**

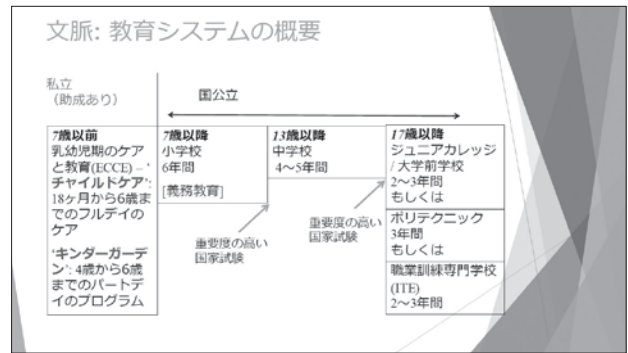
- びっくり！おもしろ紙遊び
- びっくり！おもしろ砂遊び
- びっくり！おもしろ空気遊び
- びっくり！おもしろ水遊び
- びっくり！おもしろ光遊び

ている言語は英語が約 30%を超え、中国本土で使われるマンダリンが約 48%、それ以外の中国語が約 20%という形態になっています。こうした多言語国家であるため、子どもは必ず英語を学ばなければなりません。英語に加え自分の母語も学ぶことになっています。

シンガポールは長年英語を使ってきましたが、多民族の中で様々な国の言葉を混せて使ってきました。このような英語を「シングリッシュ」と呼びますが、この言葉が原因で私達にとって本当の英語を学ぶことが非常に難しくなっています。実は、比較的低い教育水準の方が保育者になるケースが多く、その方々は形式張った言葉を、書いたり読んだり話したりすることをあまり得意としておらず、幼児教育の内容に大きな影響を与えると考えられるためです。

シンガポールの教育システム概要は、スライド①のようになります。親御さんにとっては最初に来る中学校の国家試験（入学試験）が一番大きな問題となるため、試験に合格できる取り組みを幼児期という早い段階からおこなってほしいという要求が多くあるそうです。

チャイルドケアセンターと幼稚園（キンダーガーデン）のこれまでの経緯を述べます。チャイルドケアセンターは、比較的貧しい家庭のサポートという形でスタートしています。社会福祉省の管轄下にあり、



り、昔は「栄養を与える場所」「身をきれいにしあげる場所」というイメージが強かったのです。一方幼稚園は、最初は教会で開かれることが多かったそうです。教会からスタートし、小学校以降の準備として読み書きを教えるため、中流家庭の子女が多く通っていました。

1980年代に入ると女性の社会進出が奨励され、もはやチャイルドケアセンターは貧しい家庭のものだけでなくります。管轄は社会福祉省からコミュニティの開発省に移管されました。このコミュニティ開発省は現在、Social and Family Development という社会サービスと家族開発省という名前に変わっていますが、機能は変わっていません。また、幼稚園は教育省の管轄ということになっています。

2013年以降、全てのチャイルドケアセンターと幼稚園が、教育省と社会福祉省が共に働きかけて作った Early Childhood Development Agency

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス

サーバー二重化!

らくらくメール
園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホで

らくらくバスメール
スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ〜んぶ学研に
おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画!

らくらくホームページ
目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。

シンガポールにおける
ECEの役割と文脈

今日:
▶ 2013年以降、すべてのチャイルドケアセンターとキンダーガーデンが、Early Childhood Development Agency (EDCA)管轄に。
▶ 学業競争社会に浸透：小学校卒業時の試験（重要度高）を視野に入れ、プリスクールは小学校の準備期間という考え。
▶ 2014年に教育省が設立した15のキンダーガーデン以外の、1600のキンダーガーデンとチャイルド・ケア・センターは私立。70%以上は営利団体が運営、残りは非営利団体。
▶ 最大の運営主体は2つの非営利団体:
▶ 人民行動党コミュニティ開発基金(PCF)では、全国で300以上のチャイルド・ケア・センターおよびキンダーガーデンを運営
▶ 全国労働組合会議(NTUC)では、100以上のチャイルド・ケア・センターを運営

スライド②

さまざまな文献にみられる
教育におけるリーダーシップの定義

▶ いくつも定義があるが、乳幼児教育(ECE)施設に関連して十分には定義されていない:
▶ 指導的リーダーシップ、
変革的リーダーシップ、
倫理的リーダーシップ、
構成主義的リーダーシップ、
奉仕的（態度の）リーダーシップ、
文化的リーダーシップ、そして
原始的な（生き残りに長けた）リーダーシップ
しかしほとんどは、概念的に一貫した理論あるいは検証された理論ではなく、単なるスローガンとなっている
(Goleman, Boyatzis and McKee, 2002)

スライド③

という機関の管轄下に入っています。システムは2分したまま、省庁だけが1つになって認可を行っているため、とても複雑な作業をしています。（今日のシンガポールの状況はスライド②参照）

【教育分野におけるリーダーシップの定義について】

教育におけるリーダーシップについては、スライド③・④のような様々な定義や実践が挙げられています。リーダーというと、一人優れた人がいて、その人についていくというイメージですが、国際的な教育におけるリーダーシップの研究動向は、その役割を分散し、様々な人が役割を担っていくことでリーダーシップを包括的に考える方向性に変わってきています。例えば、スライド⑤のような型があります。これは、各人が同じ比重を持って活動に従事し、協力をしながら何かを作り上げていくという型です。

組織の変化として、スライド⑥のように人を育てる者としてのリーダーと書いていますが、これは学校をどう捉えるかにも繋がってきます。学び続ける組織、常に発展し常に改革し続ける組織体をつくっていく「ラーニング・オーガニゼーション」という考え方は、教育学から出てきたものではなく、ビジネスの世界から出てきたモデルになります。

（つづく）

（兵庫県尼崎市・認定こども園七松幼稚園園長／
亀山秀郎）

さまざまな文献にみられる
教育におけるリーダーシップの定義

▶ (Leithwood et al, 2006) によれば、
核となるリーダーシップがみられる実践には、以下が含まれる:
方向づけ、
成長する人々、
組織の再設計、
教育プログラムの管理運営

マネジメント、
アドミニストレーション、
リーダーシップの
組み合わせ

スライド④

分散化された、協働型モデル

(Spillane, 2005)
リーダーシップの“実践”を、関与するリーダー、そこで働くスタッフ、そしてその状況の間のインタラクションの産物として捉える。そのため、リーダーシップの効果を検証するということは、リーダーシップが組織内でどのように分散しているかを検証することである。

スライド⑤

組織の変化:
人を育てる者としてのリーダー

▶ ポジティブな変化や成長のための“学び続ける組織”の重要性 (Fullan, 2001; Senge, 1990)
▶ 学び続ける組織とは、“人々が継続的に、自らの望む結果を創り出していくために自らの能力を高めていく場”である(p3)。よって、これを達成するためには、リーダーは組織のメンバー一人ひとりが高いパフォーマンスを実現し、学び続け、ポジティブな結果を生み出していくよう、学びの機会を十分に創出する必要がある。
▶ 園では、リーダーシップについて、子どもの学びや発達の実、そしてスタッフの専門性向上や学びと結びつけて考える必要がある。

スライド⑥

次号では、Silene Lim 先生の講演概要第2回目を掲載します。

台風 10 号の被害について

9月に東北地方を横断した台風10号の爪痕は、岩手県、特に県北部に大きな被害をもたらしました。既にニュースで報じられているように川の氾濫によって、高齢者施設グループホームをはじめ死者20名、行方不明者4名を出すに至りました。私立幼稚園関係では、久慈市、釜石市、宮古市、山田町と県北沿岸部を中心に園舎や園庭への浸水をもたらしました。人的な被害はなかったものの保育を休まざるを得ない状況となる被害が発生し、東日本大震災を彷彿とさせる状況が見受けられました。

宮古市の認定こども園宮古泉幼稚園では、排水溝から溢れ出た水が園舎に浸水し床上50cmにまで達しました。久慈市の幼保連携型認定こども園久慈幼稚園でも50cmに達する雨水が浸水しました。山田町の山田幼稚園では、園舎への被害はなかったものの東日本大震災で陥没した折に埋め立てた園庭部分が、大量に浸水した雨水によって園庭の土を大量に浸食し大きく陥没するという事態を招きました。その他の地域では、バスが破損するという被害も報告されています。園舎に浸水したところでは、泥の撤去や清掃、消毒が完了するまで休園せざるを得ず、保護者の協力や職員総出でその作業に当たりました。園舎園庭という広範囲にわたっていたので、その復旧には約2週間程度が費やされました。子どもたちの一刻も早い登園を願って、懸命に尽力された各園の先生方には大変なご苦労をされたことに敬意を表したいと思います。このたびの自然災害においても、常日頃の危機管理の充実が望まれることを再確認されたところでした。

((一社) 岩手県私立幼稚園連合会副会長、政策委員長、北上市・ふたば認定こども園双葉幼稚園／今西界雄)

大阪府私立幼稚園連盟 創設 80 周年をむかえて

子ども・子育て支援新制度が施行され2年目を迎えました。大阪府の私立幼稚園の中でも、従来型の私立幼稚園としてとどまる園、新制度へ移行する園とが混在しながらも、地域における公的な施設として社会的な役割と責任を強く持ちながら、子どもたちの健やかな育ちを願いつつよりよい幼児教育を担っています。

大阪府でも、少子化や家庭や地域を取り巻く状況の変化により、保護者の就労などに伴う預かりの保育等の地域における子育て支援の充実が求められていて、質の高い幼児教育を行う必要性が高まっています。しかし、幼稚園教育を実践する質の高い教職員の人材確保は、年を追うごとに困難となってきた実態にあり、保護者が安心して子育てし安心して子どもを幼稚園や認定こども園に通わすことができる環境をつくるためにも、安定した質の高い教職員の人材確保が近々の課題となっています。

また、所得制限のない5歳児の無償化の実施や教職員の処遇改善など市独自の施策も始まり、大阪府内でも格差が広がるような状況が生まれています。

大阪府の私立幼稚園連盟は今年で創立80周年を迎えることとなり、ここに至るまでに、幼児教育の重要性が社会的に認知されるよう、先達の先生方が築きあげてきた思いや努力に心から感謝し敬意をはらうとともに、制度が2つとなっているこの時期だからこそ、一つの団体としてこれからも共に活動できる喜びを持ちながら、連盟の80周年を祝い、心を新たにしていかなければならないと強く願うところです。

((一社) 大阪府私立幼稚園連盟広報委員長、大阪市・育和学園生長幼稚園／泉尚秀)

編集後記

今年度、私たちが住む佐賀県は子育てに関するものに大きな予算を割いていました。これは知事が「さが、最高！」を合言葉に、子育て世代が住みやすい県を目指している意思の表れだと思います。この知事の思いをチャンスにとらえ、知事を軸にしたフォーラムを来年一月に開催します。幼児期の教育にお金をかけなければ国の未来がないことを広く知ってもらおうと、幼稚園や認定こども園に限らず、保育園や家庭で子どもを育ててい

るご家庭の保護者にも広く呼びかけます。もちろん、佐賀県私立幼稚園・認定こども園 PTA 連合会との共催です。イクメンで有名なユージや OECD のデータをきちんと示していただく西南学院大学の門田理世先生もゲストに招きます。開催場所は佐賀城本丸の大広間。江戸時代、鍋島藩のお殿様が千人の家来に指示を出した場所です。時は新年、県のトップの話がどう、心に響くか。今から楽しみにしています。

(調査広報副委員長・高尾恵子)

平成 28 年度（第 10 回）免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 札幌市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 1 月 11 日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	工藤ゆかり（帯広大谷短期大学社会福祉学科講師）、新川貴紀（北翔大学大学院人間福祉学専攻准教授）	6 時間	平成 29 年 1 月 12 日	100 人	平 28-80012-100986 号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 札幌市	「学習指導要領の改訂の動向等」「学校を巡る近年の状況の変化」の 2 項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は 1 月 12 日開催の必修講習と連続して行うものです。なお、本講習は 1 月 12 日開催の必修講習と連続して行うものです。	吉田耕一郎（北翔大学非常勤講師、学校法人北見光華学園北見北光幼稚園理事長・園長） 佐藤公文（北海道教育大学旭川校非常勤講師、学校法人旭川宝田学園わかば幼稚園園長）	6 時間	平成 29 年 1 月 11 日	100 人	平 28-80012-301764 号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 旭川市	※「保育の実践力を高める」「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返し、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	椎名澄子（旭川大学短期大学部幼児教育学科准教授）	6 時間	平成 29 年 1 月 14 日	100 人	平 28-80012-507622 号

1日1話、365日分の「読みきかせお話集」

E40451

きょうのおはなしなあに 春

E40452

きょうのおはなしなあに 夏

E40453

きょうのおはなしなあに 秋

E40454

きょうのおはなしなあに 冬

きょうのおはなしなあに

1冊につき3か月分を収録。情操を育むお話はもちろん季節や行事などの内容も盛り込んだ1日1話、365日分の「読みきかせお話集」の決定版です。漢字にはふりがながついて、子ども自身でも読むことができます。

ひかりのくに株式会社

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

各巻 定価：本体 **2,400円** (税別)
大きさ／26.2cm×21.5cm
秋・冬は、全国学校図書館協議会選定